

## 6月22日：主力銘柄が上昇を牽引し、VN指数は反発

大型株が上昇を牽引し、VN指数は反発。その一方で外国人投資家は引き続き売り越した。

ホーチミン市場のVN指数は0.53%高の終値1,379.97ポイントだった。

値下がり銘柄数が値上がり銘柄数を上回り、204銘柄が下落、189銘柄が上昇した。50銘柄は変わらずだった。

出来高は引き続き高水準で、売買高は約7億4,700万株、売買代金は22兆3,900億ドン（9億7,310万米ドル）を超えた。

銀行、不動産、公益セクターの主力株がマーケットの上昇を牽引した。

VN30指数は0.74%高の1,489.24ポイントで取引を終えた。

同指数採用銘柄のうち、17銘柄が上昇、10銘柄が下落、3銘柄は変わらずだった。

マーケットのプラス寄与度上位5銘柄には、ノブランド不動産投資グループ（NVL）が+4.13%と寄与度でトップとなった。

他にもヴィエティンバンク（CTG）、軍隊商業銀行（MBB）、ペトロベトナムガス（GAS）がそれぞれ2%を超える上昇を見せた。

サイゴンビール・アルコール飲料（SAB）-1.71%、ビンホームズ（VHM）-0.45%と一部大型株に売りが出たことで、マーケット上昇の重しとなった。

「短期的にVN指数は下値支持線（1,240～1,355ポイント）と上値抵抗線（1,385～1,405ポイント）の間で推移しそうだ」（バオベト証券の株式シニアアナリストのTran Xuan Bach氏）

「現在マーケットではセクターごとの銘柄選別が進んでいる。そして上昇局面の時にあまり買われなかった割安な中小型株や大型株に買いが入るだろう」（同氏）

「第2四半期の決算発表も今後のマーケットの流れを作るものになるだろう」（同氏）

「投資家は引き続きポートフォリオの 55～65%を株式に割り当てるのが良い」（同氏）

大型株が売られたが、ハノイ市場の HNX 指数は 0.27%高の 317.09 ポイントで取引を終えた。大型株中心の HNX30 指数は 0.03%安で引けた。

売買高は約 1 億 6,350 万株、売買代金は 3 兆 6,700 億ドンを超えた。

その一方で、外国人投資家は前日に続き両市場（ホーチミン、ハノイ市場）で合わせて 4,954 億 4,000 万ドンを売り越した。そのうち、ハノイ市場では 6,041 億 9,000 万ドンを売り越し、ホーチミン市場では 989 億 9,000 万ドン、UPCOM 市場では 97 億 6,000 万ドンを買い越した。

---

## ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。